

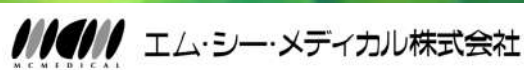
第36回 関東小児整形外科研究会

会期：2026年2月7日（土）
13時～18時



会場：東京科学大学
M&Dタワー2F 共用講義室2
〒113-0034
東京都文京区湯島1丁目5-45
会長：神野 哲也
(獨協医科大学埼玉医療センター整形外科)

協賛



第 36 回関東小児整形外科研究会

会場： 東京科学大学 湯島キャンパス

住所： 〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目5-45

アクセス： JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口 徒歩2分

東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 1、2番出口すぐ

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩4分

◆ 研究会： M&Dタワー2階 共用講義室2（下図⑩）

◆ 幹事会： 3号館2階 医学科講義室1（下図⑨）

3号館へは M&D タワー2階からの連絡通路がございます。

尚、当日3号館3階以上は大学の都合で立ち入り禁止ですのでご了承ください。

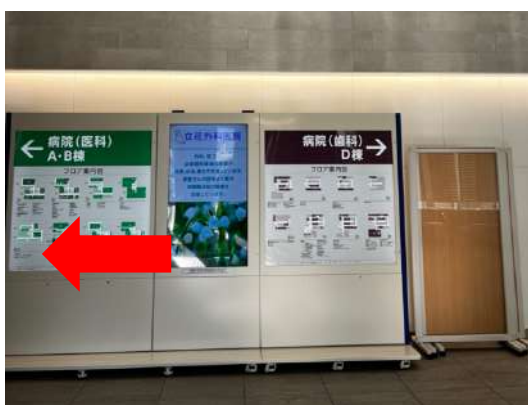


各路線出口からお茶の水門 C 棟入り口★へ向かってください。★からの道順は次頁。

① C棟の入口に入る



② 玄関から病院(医科)A・B棟方向へ



③ エスカレーターで2階へ



④ スタバを右手に出口へ



⑤ 病院入口を入らずに左へ



⑥ まっすぐ進む



⑦ M&Dタワーへ入る
(この入口は2階です)
入口を入ったらすぐ右へ



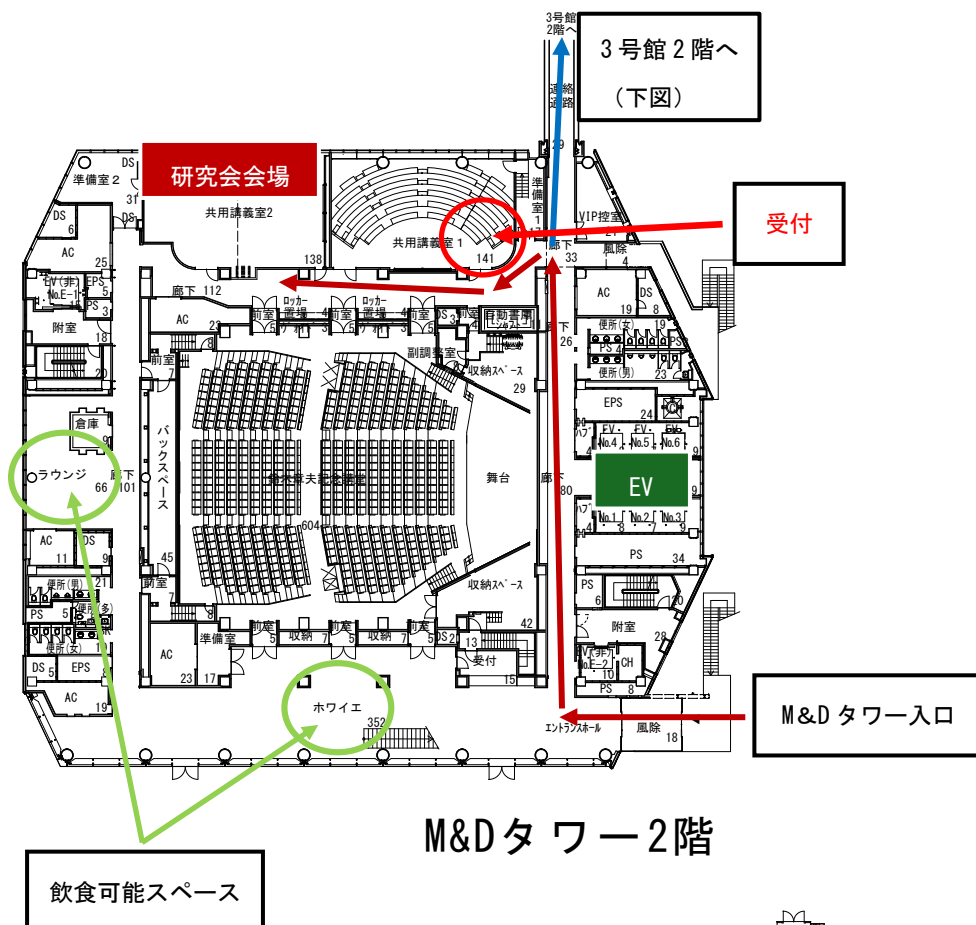
【研究会会場】

エレベーターホールとトイレを越えた先を左に曲がる → 右手の2つ目の部屋が研究会会場です

【幹事会会場】

エレベーターホールとトイレを越えてそのまま直進 → 3号館に入る

→ つきあたりを左、そのあとすぐ右に曲がると、右手が会場です



M&Dタワー2階



3号館2階

ご参加の先生方へ

1. 参加費として 5,000 円申し受けます。(事前登録 4,000 円)
(卒後 2 年以内の臨床研修医・学生・コメディカルは無料とします)
2. 教育研修講演は日生整研修単位を取得することができます。
日整会教育研修単位認定 専門医資格継続単位 1 単位
認定番号 25-1605 [1] 外傷性疾患、[3] 小児整形外科疾患
なお、受講料として 1,000 円申し受けます。

・日整会単位取得をご希望の方はスマホアプリ「日整会 JOINTS」をご持参ください。

演者の先生方へ

- ・一般演題は発表 5 分、質疑応答 2 分をお願いいたします(時間厳守)。
- ・症例検討会は発表・討論合わせて 15 分を目安でお願いします。発表を中断しながら段階的な討論でも構いません。討論を含めて 15 分以内で収まることを目標としてください。
- ・会場でのプレゼンテーションをお願いいたします。
(WEB でのご発表、ご参加は対応しておりません)
- ・プレゼンテーションは前日(2/6(金))までにメールまたは USB メモリの郵送等でご提出ください。

メールアドレス(ogayuki@dokkyomed.ac.jp) :

郵送先: 〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科
医局 宛

(★当日の直接データのお引き受けは、システム上大変混乱をまねきますのでご容赦ください)

- ・当日の PC 持ち込みはできません。
- ・プレゼンテーションはパワーポイントで作成していただきますようお願いいたします。
- ・動画に関しまして、プレゼンテーションの中に組み込んでいただいて問題ありませんが、システムの関係で再生できない、あるいは音声が出ない等のトラブルの可能性はありますことをご容赦ください。
- ・日本小児整形外科学会誌に掲載するため 400 字以内の抄録の提出を前日(2/6(金))までにお願いいたします。

メールアドレス(ogayuki@dokkyomed.ac.jp)

<第一部>

会長挨拶 12:55

症例検討 13:00-14:00 座長 垣花昌隆（獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科）

1. 左膝片肢性骨端異形成症の一例

神奈川県立こども医療センター 整形外科

○横山 弓夏(ヨコヤマ ユミカ) 大庭真俊 津澤佳代 河邊有一郎 鷺見宏介 中村直行

症例は2歳男児。1歳半頃より左膝伸展制限を認め、精査目的に当科へ紹介となった。初診時、左膝関節を屈曲し尖足で立位をとっており、歩行しようとしなかった。診察時、他動的膝関節可動域は屈曲140°/伸展-45°で伸展制限を認めた。MRI検査の結果、左大腿骨内側顆部関節面から関節窩に連続する骨端軟骨の過形成を認め、片肢性骨端異形成症(Dysplasia epiphysealis hemimelica:DEH)と診断した。MRI検査の3ヵ月後に再び歩行できるようになったが、膝の伸展制限に起因する跛行は残存し、歩行距離も短いままである。本症例のDEH病変はそのほとんどが関節面に存在しているため、治療方針の選択に難渋している。関節窩のみなど、部分的なDEH病変の切除を早期に行うべきか、または変形や関節症性変化の進行を許容しつつ経過観察する方針か等、経験のある施設からの意見を頂ければと考えている。”

2. 先天性多発関節拘縮症 膝関節屈曲障害ほか

群馬県立小児医療センター 整形外科

○浅井 伸治(アサイ シンジ)

症例 10歳5ヶ月女児 身長136.3cm47.9kg

【主訴】 右股・右膝関節屈曲障害

【家族歴】母DM、兄クローン病

【経過】

20XX.8.3 ○○病院にて出生。右膝脱臼有り整形外科で脱臼整復。

同年.8.7 右膝脱臼後の治療目的にて当科初診。左股関節脱臼あり。

20XX+2.9.19 手術:広範囲展開法

20XX+4.3.18 靴下、靴の着脱が困難

20XX+9.12.1 階段昇降、股・右膝関節屈曲制限あり階段昇降困難

【現症】

股関節可動域 屈曲右70°左30° 伸展右20°左10° 外転右30°左10° 内転右30°左10° 外旋右20°左0°

内旋右20°左15° 膝関節可動域 伸展/屈曲右-15°/60° 左0°/90°

足関節可動域 底屈右30°左20° DFKE 右5°左10° DFKF 右10°左20°

【画像所見】

右内反股、左大腿骨頭変形、下肢長差ほか

ADL改善のため治療法についてご経験のある先生方のご意見を賜りたく、このたびの症例相談となりました。何卒よろしくお願いします。”

3. 乳児の足関節可動域制限を伴った腫瘍性病変について

群馬大学医学部付属病院 整形外科¹⁾ 群馬県立小児医療センター 整形外科²⁾

○川上 詩織(カワカミ シオリ)¹⁾ 品川知司¹⁾ 富沢仙一²⁾ 浅井伸治²⁾ 筑田博隆¹⁾

生後 10 か月男児。左足関節に発症した乳児線維性過誤腫について症例相談する。

初診時 3 か月男児。3 か月健診で左足関節拘縮の指摘あり、当院紹介受診となった。既往歴・アレルギーなし。左足関節前方皮膚にやや硬さがみられ、背屈 5°・底屈 10° と足関節可動域制限がみられた。他関節に明らかな可動域制限はなく、皮膚科では限局性強皮症は否定的であった。単純 X 線で骨性の異常所見はなかったが、MRI で伸筋腱を全周性に取り囲むように足関節前方を中心にびまん性で辺縁不整の腫瘍性病変がみられた。生後 5 か月時に切開生検を行い、病理は乳児線維性過誤腫疑いという結果で悪性所見はなかった。現在ストレッチを指導し経過観察している。生後 8 か月の段階でひとり立ちは支障なくできているが、現状は背屈 15、底屈 0 と底屈制限が増悪している。相談内容は今後の治療方針(保存:装具など、手術(タイミング・切除範囲など))についてご教示いただきたい。

4. 大腿骨頭すべり症のスクリュー周囲の異常骨反応

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科

○森平雄太(モリダイラ ユウタ) 鈴木萌 垣花昌隆 神野哲也

12 歳男児。164cm/70.7kg。既往なし。スポーツ歴ハンドボール(全国大会レベル)。

2024 年頃に左股関節痛出現。他院にて MRI 精査し関節水腫指摘されるも 2-3 週の安静で症状改善した。

2025 年 6 月 7 日頃から痛み再燃。6 月 14 日に前医受診。左骨頭すべり症の診断で当院紹介、同日入院。

6 月 15 日に退院希望あり(コーチから助言の影響)。リスク説明するも自主退院。

6 月 22 日、29 日にハンドボール県大会出場。(学校は休んでいた)

6 月 30 日に再度紹介受診し、入院。

7 月 9 日手術。両側 ORIF を施行(右は予防的固定)。

左 NWB。右荷重許可。松葉杖練習し、7 月 18 日退院。

10 月 20 日 術後 15 週で松葉杖 Off

創部痛改善し、NRS 0/0 で経過していたが、右スクリューを中心に骨反応が出現。

この骨反応が一体なにか、早期抜去したほうがよいか、ご意見をいただきたいです。”

——休憩 5 分——

＜第二部＞

一般演題

14:05-14:55 上肢・脊椎・その他 座長 根本菜穂（埼玉県立小児医療センター 整形外科）

1. 小児 Floating Elbow の臨床的特徴と治療成績:6 症例の解析

埼玉県立小児医療センター

○木内 莉子(キウチ リコ)

2. 多発性外骨腫に伴う橈骨頭脱臼に対する治療経験

千葉県こども病院

○犬飼 友哉(イヌカイ トモヤ) 柿崎潤 瀬川裕子 及川泰宏 佐久間昭利 國安夏希

3. 肘内障整復困難例に対する supervised neglect での治療経験

国立病院機構甲府病院 整形外科

○若生 政憲(ワコウ マサノリ) 萩野哲広 萩野哲男

4. 小児化膿性脊椎・椎間板炎の治療経験

埼玉県立小児医療センター 整形外科

○町田 真理(マチダ マサヨシ)

5. 術中神経生理学的モニタリングを契機に無症候性 Charcot-Marie-Tooth 病が判明した側弯症の一例

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科

○樋口 和歩(ヒグチ カズホ)

6. ビタミン D 含有食品、サプリメントの比較

千葉県こども病院

○佐久間 昭利(サクマ アキトシ)

7. 壊死性筋膜炎との鑑別を要した、インフルエンザワクチン副反応の一例

都立小児総合医療センター

○北村 彰宏(キタムラ アキヒロ)

――休憩 10 分――

15:05-15:55 下肢 座長 山口玲子（東京科学大学 整形外科）

1. 先天性下腿切断肢に生じた下腿内反変形の一例

神奈川県立こども医療センター 整形外科¹⁾ 横浜市立大学整形外²⁾

○鷺見 宏介(スミ コウスケ)¹⁾ 大庭真俊¹⁾ 河邊有一郎¹⁾ 横山弓夏¹⁾ 津澤佳代¹⁾ 中村直行¹⁾
崔 賢民²⁾ 稲葉 裕²⁾

2. 先天性膝蓋骨欠損、大腿四頭筋低形成に加え膝屈曲拘縮を呈した症例

国立成育医療研究センター 整形外科

○佐藤 春佳(サトウ ハルカ)

3. 大腿骨骨幹部骨折後、遅発性に生じた反張膝の一例

東京都立小児総合医療センター 整形外科

○江里 悠哉(エリ ユウヤ) 木村祐美子 太田憲和 松岡夏子 須山由加里 北村彰宏 下村哲史

4. 小児外反母趾に対し DynaNite ステープルを用いた手術経験 -2 例の報告-

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科

○田山 義樹(タヤマ ヨシキ) 垣花昌隆 篠原果夏 神野哲也

5. 下腿血管腫による尖足拘縮の 1 例

群馬県立小児医療センター 整形外科

○浅井 伸治(アサイ シンジ)

6. 大腿骨に瘻孔形成を認めた広範囲な大腿部膿瘍の 2 例

千葉県こども病院

○國安 夏希(クニヤス ナツキ)

7. 切除により改善した伏在神経絞扼性障害を呈したカポジ肉腫様血管内皮腫の 1 症例

東京科学大学 整形外科

○中村 媛奈(ナカムラ ヒナ)

---休憩 10 分---

16:05-16:50 股関節 座長 瀬川裕子（東京科学大学 整形外科）

1. 過去 32 年間で印象に残っている先天股脱例

松戸市立総合医療センター 整形外科

○品田 良之（シナダ ヨシユキ）

2. 先天性内反股に生じた大腿骨頭すべり症の1例

筑波大学附属病院 整形外科

○生澤 俊輔（イケザワ シュンスケ） 鎌田浩史 塚越祐太 都丸洋平 本間康弘

3. 2 歳に生じた大腿骨頸部骨折 Delbet-Colonna 分類 2 型の 1 例

水戸済生会総合病院 整形外科¹⁾ 筑波大学 医学医療系整形外科²⁾

茨城県立こども病院 小児整形外科³⁾

○関根雪乃（セキネ ユキノ）¹⁾ 塚越祐太^{2/3)} 野澤大輔^{2/3)} 鎌田浩史²⁾ 生澤義輔¹⁾ 本間康弘²⁾

4. 先天性股関節脱臼に対して執刀した観血的整復術 50 股

心身障害児総合医療療育センター 整肢療護園 整形外科

○伊藤 順一（イトウ ジュンイチ）

5. 骨切り術適応外と判断された外傷性大腿骨頭壊死に対し人工股関節全置換術を施行した 13 歳女児の 1 例

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科

○小谷野 岳（コヤノ ガク）

6. 股関節内出血を生じた軽症血友病 A の 1 例

群馬大学 整形外科¹⁾ 群馬県立小児医療センター 整形外科²⁾

○品川 知司（シナガワ サトシ）¹⁾ 川上詩織¹⁾ 浅井伸治²⁾ 富沢仙一²⁾ 筑田博隆¹⁾

——休憩 10 分——

< 第三部 >

17:00-18:00 教育研修講演 座長 神野哲也（獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科）

小児骨折における ESIN (Elastic Stable Intramedullary Nailing) の有用性 - 適応と限界 -

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 整形外科・リハビリテーション科医長 塩田 直史先生

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー 共催

18:00 閉会のことば



第36回 関東小児整形整形外科研究会

小児骨折における ESIN (Elastic Stable Intramedullary Nailing) の有用性 - 適応と限界 -

演 者

塩田 直史 先生

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 整形外科・リハビリテーション科医長

日 時

2026 年 2 月 7 日 (土) 17:00 - 18:00

場 所

東京科学大学
M&D タワー 2F 共用講義室 2

研究会の事前参加登録は 2026 年 1 月 26 日 (月) までです
(当日の現地での参加登録も可能です)。

研究会の
事前参加登録はこちら



座 長

神野 哲也 先生

獨協医科大学 埼玉医療センター整形外科 教授

本セミナーは、日本整形外科学会教育研修講演としていずれかの単位が取得できます。単位登録料 1,000 円は現地でお支払いください。

認定単位 : 日本整形外科学会 (N) 1 単位
必須分野 : [2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む)
[3] 小児整形外科疾患 (先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)

販売名: チタニウムエラストックネイル (減菌)・承認番号: 228008ZX00369000

個人情報のお取り扱いについて: https://www.jnj.co.jp/pil_jmkk

共催: 第 36 回 関東小児整形整形外科研究会 / ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

学会 HP



DPS Online



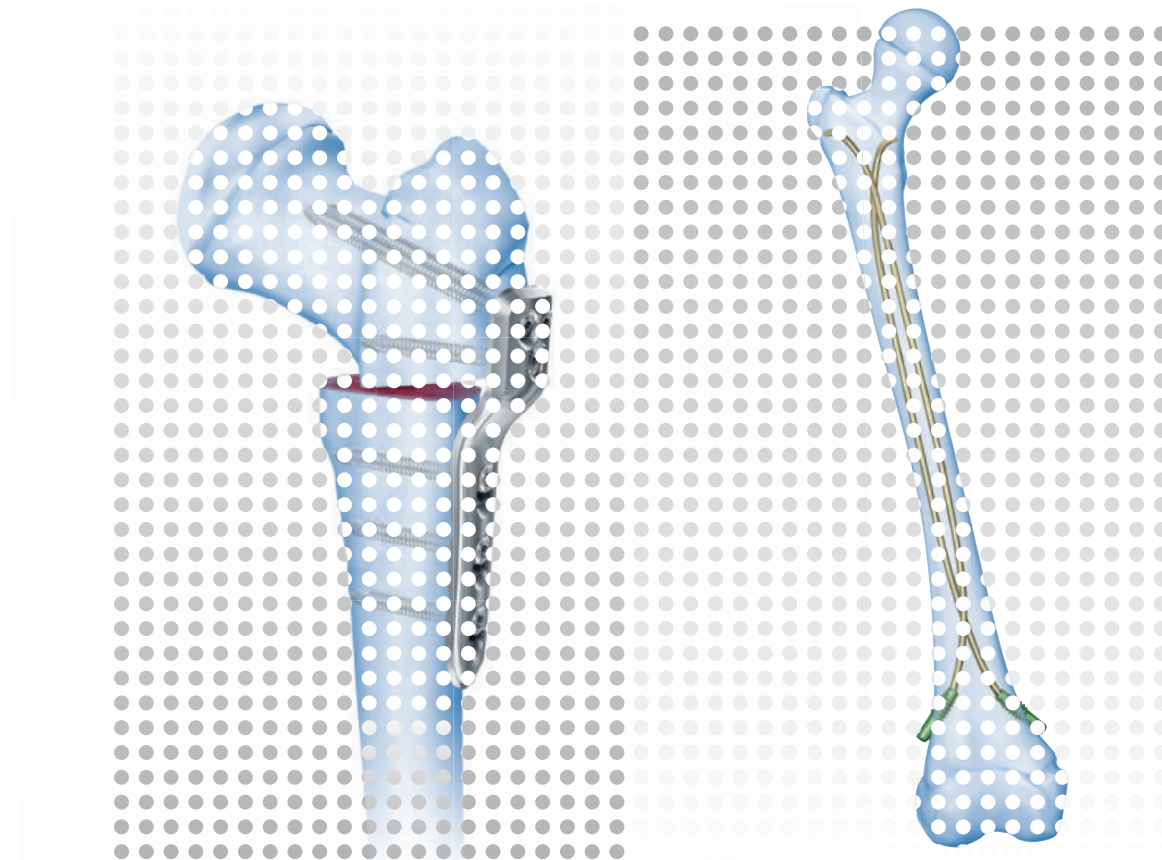
©J&J K.K. 2026・JP_ORT_TREX_410761.1

LCP® PEDIATRIC HIP PLATE

For osteotomy and trauma applications in the proximal femur

TITANIUM ELASTIC NAIL SYSTEM (TEN™)

For elastic stable intramedullary nailing (ESIN)



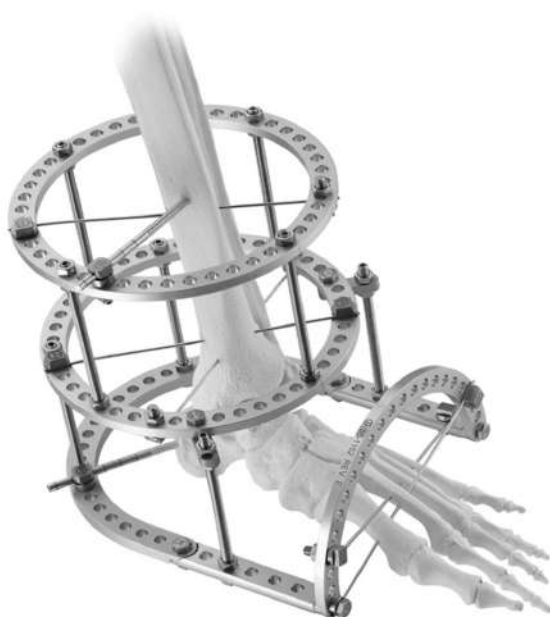
販売名: LCP ペディアトリックヒッププレートシステム (滅菌)・承認番号: 22100BZX00821000
販売名: AO スモールフラグメント システム インプラント SS (滅菌)・承認番号: 21700BZY00273000
販売名: チタニウムエラスティックネイル (滅菌)・承認番号: 22800BZX00369000

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 〒101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号

DPS Online



JP_ORT_TREX_411457 ©J&J K.K. 2026



ORTHOFIX

TRUELOK
RING FIXATION SYSTEM

TL-HEX
TRUELOK HEXAPOD SYSTEM



製造元 オーソフィックス社（イタリア）

販売名：オーソフィックス創外固定ピン（滅菌済） 医療機器承認番号：20900BZY01009000

販売名：オーソフィックス創外固定器

医療機器届出番号：27B1X00116000123

販売元



エム・シー・メディカル株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー12階 TEL：03-5715-2800 FAX：03-5715-2801
<https://www.mcmed.co.jp/>



DYNANITE

continuous *compression*

超弾性によるコンプレッション

- ・ブリッジ厚 1mm のロープロファイルデザイン
- ・簡便な専用インサーター
- ・インプラント & 器械 滅菌済キット



販売名	承認等番号	一般の名称	規制区分	機能区分
DynaNite ステープル	30200BZX00273000	体内固定用ステープル	クラスIII	固定釘・F5-b

製造販売元：Arthrex Japan 合同会社

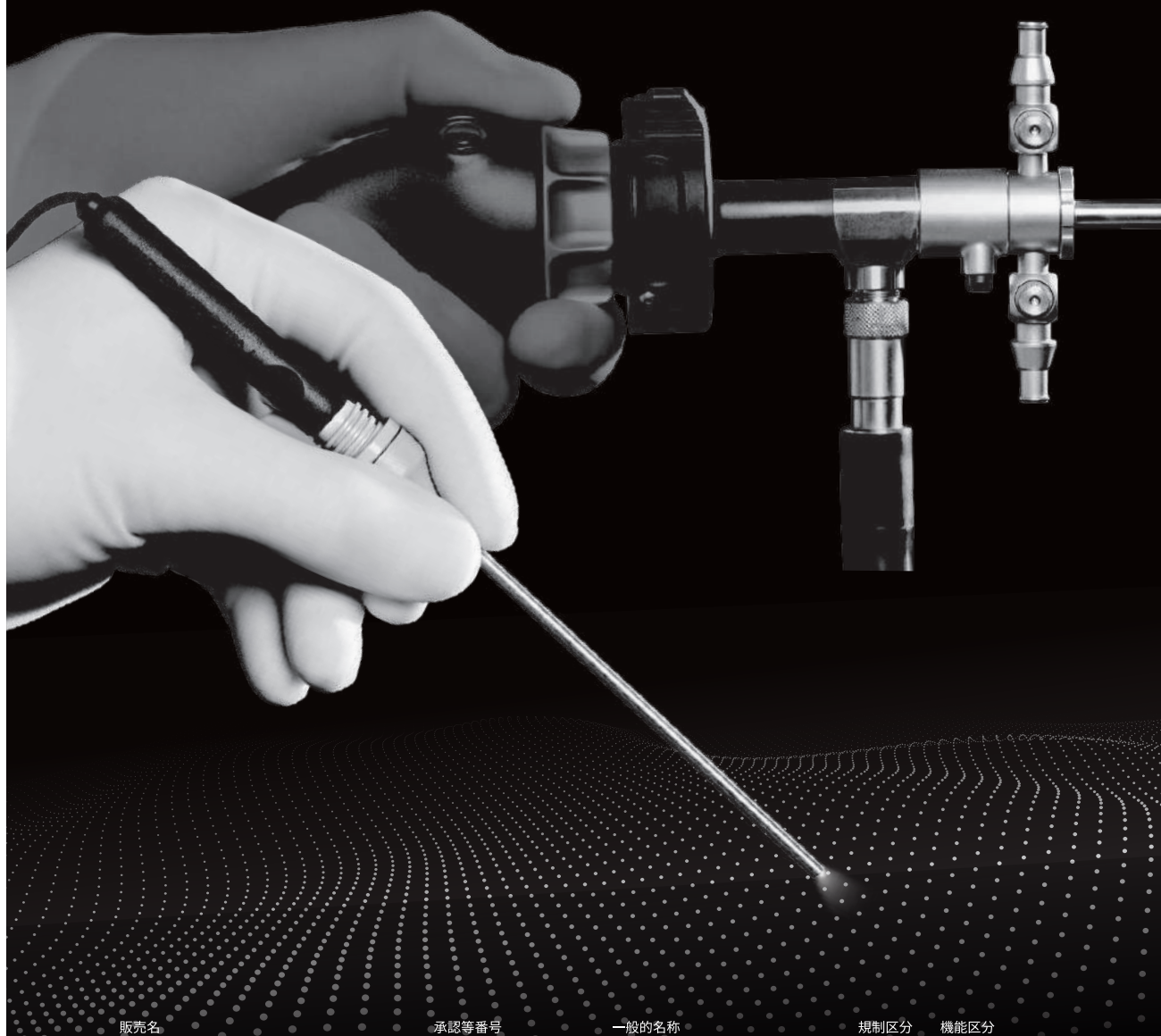
arthrex.co.jp

© 2025 Arthrex Japan 合同会社 All rights reserved.
〒163-0828 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル 28F

Arthrex®

NanoNeedle

Small, Made Smaller



販売名	承認番号	一般の名称	規制区分	機能区分
NanoScope カメラシステム	302ADBZX00035000	硬性関節鏡	クラスⅡ	非該当
アースロスコープ	301ADBZX00017000	人工開口向け単回使用内視鏡用拡張器	クラスⅡ	非該当
Synergy UHD4 カメラヘッド	13B1X10093150003	内視鏡用ビデオカメラ	クラスⅠ	非該当
Synergy HD3 スコープ用システム	13B1X10093130003	再使用可能な内視鏡用拡張器	クラスⅡ	非該当
Synergy アースロスコープ	225ADBZX00176000	硬性関節鏡	クラスⅡ	非該当
Synergy HD3 コントロールユニット	13B1X10093130002	内視鏡用光源・プロセッサ装置	クラスⅠ	非該当

製造販売元：Arthrex Japan 合同会社

arthrex.co.jp

© 2025 Arthrex Japan 合同会社 All rights reserved.

〒163-0828 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 28F

Arthrex®

Made in JAPAN, SEKI



関工場（岐阜県）

メイラ株式会社は1936年に創業致しました。当時の社名は名古屋螺子製作所といい、(2000年にメイラ株式会社へ社名変更)当時としては最新の技術を駆使して製造された、零式艦上戦闘機(零戦)のネジ・部品を製造するところからスタートしました。

以来、長年培った金属加工技術を生かし、現在では自動車・一般産業用ネジ・ボルト、宇宙・航空機用ファスナー・ボルト、整形インプラントなど主に3領域にわたって事業を展開しております。

メディカル事業部では、医療現場のニーズやドクターのアイデアを製品化する可能性を持っています。研究・試作・試験等により日本人に合った新しい製品を生み出す活動がメイラの基本姿勢です。

材料調達から機械加工、検査、出荷段階まで、厳重な品質管理のもと一貫した生産体制を確立



最新の生産設備



切削加工の現場



手作業による仕上げ加工



投影機を用いた出荷前検査

天 航空・宇宙分野 航機事業部



宇宙ステーション用ボルト(右上)

地 自動車分野 輻機事業部



自動車用ボルト(右上)

人 医療分野 メディカル事業部



メイラ 株式会社

本 社 〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町17-15 TEL 052-459-1271 FAX 052-459-1369

Technology & Heartful

技術に、心をこめて。



義肢装具の未来を、共に創る

株式会社幸和義肢研究所は、義肢・装具・車いす・姿勢保持装置等の製造販売、補聴器などの福祉機器の販売、さらに障害者就労支援事業を行っている福祉のトータルサポート企業です。本社敷地内には、生産性向上と持続可能なモノづくりを実現する CAD/CAM ステーションを開設し、最新技術と心ある支援を融合させた製品開発に取り組んでいます。さらに2027年には、障害者グループホーム事業を開始し、地域社会に根ざした総合的な福祉サービスの提供を進めてまいります。

■事業内容■

**義肢・装具、車いす、姿勢保持装置等の製造販売
就労継続支援B型事業の運営**



お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。



幸和義肢研究所

<https://www.kowagishi.com>

TEL:029-875-7627

Mail:info@kowagishi.com